

第4回

MSP / DC サービスを「見える化」し、
新たな付加価値を提供する
「SmartPIER」NTTコムウェア
「SmartCloud データセンター」インタビュー

NTTコムウェアが提供する「SmartCloudデータセンター」の運用管理サービスである「MSP/DCサービス」では、サーバーやシステムを安全かつ確実に運用・保守できるよう、稼動状況、脆弱性の有無などをリアルタイムで確認できる独自ツール「SmartPIER」を用意しています。

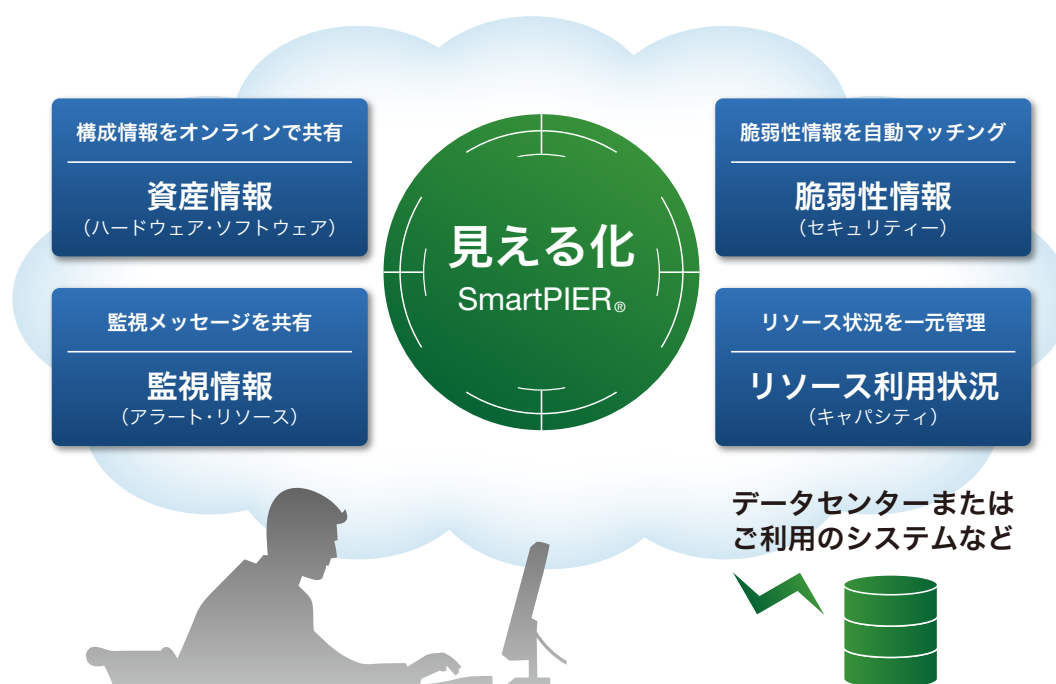
第4回となる今回のインタビューでは、MSP/DCサービスを「見える化」する「SmartPIER」誕生の背景やサービス高度化への取り組み、今後の展開についてご紹介します。

サービスを「見える化」し、お客さまに安心感を

ー「SmartPIER」とは、どのようなサービスなのでしょうか。

佐野: NTTコムウェアは「SmartCloudデータセンター」でお客さまからお預かりしたサーバーやシステムを安全、確実に運用するためのMSP/DCサービスを提供しています。その一環として、お客さまのIT資産やCPU使用率などのリソース状況のほか、脆弱性に関する情報をウェブ上でリアルタイムに把握できるサービスが「SmartPIER」です。

また、「SmartPIER」と統合ヘルプデスクや統合監視システムが連携することで、より高品質で効率的なシステムの運用・維持・管理を実現できます。



NTTコムウェア「SmartCloud データセンター」インタビュー 第4回
MSP/DCサービスを「見える化」し、新たな付加価値を提供する「SmartPIER」

— 「SmartPIER」を開発した背景について聞かせてください。

佐野: NTTコムウェアは、「お客さまのシステムを高品質かつ安全に運用すること」を目標にサービスを提供しています。

更なる安心感と信頼性の向上のためにお客さまのIT資産が、「SmartCloudデータセンター」内でどのように運用、監視されているのかを「見える化」し、お客さまと情報共有することを考えました。

開発は、2010年頃から「サービスの見える化=SmartPIERプロジェクト」としてスタートし、現在まで段階的に機能を拡充、強化しています。



佐野 友香里
NTT コムウェア株式会社
サービス事業本部
サービスプロバイダ部 MSP-BU
カスタマサービス担当

— 「SmartPIER」の開発は自社で行われているのでしょうか。

佐野: はい、自社で開発しています。「見える化」の実現にあたり、当初は汎用ツールを導入することも検討しましたが、お客さまからのご要望にきめ細かく対応するために、「自社開発」という結論に達しました。

NTTコムウェアはSIerとしてさまざまなお客さまのシステムを企画段階から開発し、保守・運用までを手がけてきた実績があります。「SmartPIER」は、実際にMSP/DCサービスを提供、運用している部門が開発を手がけました。このため、お客さまのニーズに合った機能を追加し、育て上げてきました。これこそが「SmartPIER」の独自性であり、他社のサービスにはない強みだと思っています。

「見える化」に新たな付加価値を追加し、サービスを高度化

— 2010年から開発されたサービスの「見える化」に加えて、現在は、どのような機能が「SmartPIER」に追加されてきたのでしょうか。

大角: サービスの「見える化」に新たな付加価値として、2013年頃から「IT資産管理」機能と「脆弱性情報配信」機能の追加に取り組みました。2つの機能はNTTコムウェアが長きに渡って提供してきたMSP/DCサービスの延長線上にあるサービスです。

「IT資産管理」機能は、サーバーやシステムを最適に運用するために、IT資産の変更情報をリアルタイムにお客さまと共有できる機能です。

「脆弱性情報配信」機能は、脆弱性情報をIT資産管理の情報と連動させることで、IT資産にどのような脆弱性があるか、リアルタイムに確認できる機能です。

NTTコムウェア「SmartCloud データセンター」インタビュー 第4回
MSP/DCサービスを「見える化」し、新たな付加価値を提供する「SmartPIER」

最新の脆弱性情報とIT資産管理情報とを一日あたり24回チェックし、対策が必要な脆弱性情報をお客さまにメールで通知します。

お客さまは「SmartPIER」にログインするだけで、さまざまな脆弱性情報と危険度を視覚的に確認でき、かつ、リスクの詳細が記載された管理対応表を確認することで、すばやいリスク対処が可能になります。

この機能が実現できるのもIT資産管理をリアルタイムで実現しているからです。



大角 武彦
NTT コムウェア株式会社
サービス事業本部
サービスプロバイダ部 MSP-BU
サービス SE スペシャリスト

— その他に追加された機能はありますか。

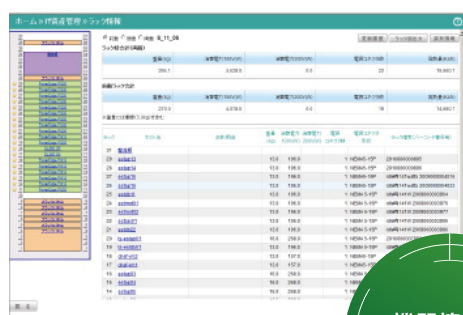
佐野:「ノードモニター」機能と「リソースモニター」機能です。

「ノードモニター」機能は、サーバーやシステムを運用する過程で発生するさまざまなアラートを確認できます。トラブルなく順調に稼働しているときは「グリーン」、システムから警報が上がる「レッド」が表示されます。メールで重度のアラートが通知された場合も、お客さまはこの画面からひと目で状況を確認できます。「リソースモニター」機能は、お客さまがサーバーのリソース、つまりCPU等の使用率やディスクの空き容量の状態を確認する機能です。直近の4時間から最長1年間のデータを保存しているので、設備の増強を検討する際に活用できます。

更に、お客さまの利便性向上と運用業務の効率化を目標に「統合受付窓口」機能を開発しました。「SmartCloudデータセンター」は高セキュリティが故に、お客さまのデータセンター内での作業申請等のチェックを厳しく実施しています。このため手続きが煩雑で時間がかかるので、ウェブ経由で作業申請手続きを受け付けることによって、スピードアップを実現しています。

このようにIT資産管理、脆弱性情報配信をはじめとするさまざまな機能を「SmartPIER」に段階的に追加し、サービスの高度化に継続的に取り組んでいます。

IT資産管理



更新情報をリアルタイムで共有

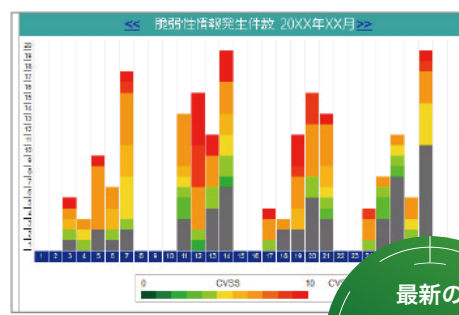
工事機器リスト

業務マニュアル

など

機器情報を
一元管理

脆弱性情報の自動検知



最新の
脆弱性情報を
視覚的に
表示

NTTコムウェア「SmartCloud データセンター」インタビュー 第4回
MSP/DCサービスを「見える化」し、新たな付加価値を提供する「SmartPIER」オペレーションサービスのパラダイムシフト。
オーダーメイドから、付加価値の高いサービス提供型へ

—「SmartPIER」は今後、どのように進化していくのでしょうか。

大角:これまでのMSP/DCサービスは、データセンター事業者が付加価値としてお客さまに提供する「代行サービス」でした。NTTコムウェアも、運用監視プロセスの標準化、統合化を推進しつつ、お客さまのご要望に対して的確に応えるオーダーメイド型のサービスを展開してきました。

現在、NTTコムウェアでは、「SmartPIER」を外販サービスとしてSaaS方式で提供する準備を進めています。また、NTTコムウェアが提供する他のソリューションと連携するなど、さらに付加価値の高い「サービス提供型」へと進化することを目標にしています。

今後は、DC/クラウドはもちろん、ネットワーク、アプリケーションも提供できる「オールインワン」の強みを活かしたサービス提供型ビジネスを目指し、ASP（オールサービスプロバイダ）として取り組んでいきます。

※ 「SmartCloud（スマートクラウド）」、「SmartCloud」ロゴ、「SmartPIER（スマートピア）」は、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。

※ その他、記載されている会社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

※ 所属部署、役割等については、取材当時のものです。



NTTコムウェア株式会社

URL : <http://www.nttcom.co.jp/>

WEB掲載 : 2017.1

SmartPIERに関するお問い合わせ先
URL : <http://www.nttcom.co.jp/smartpier/>